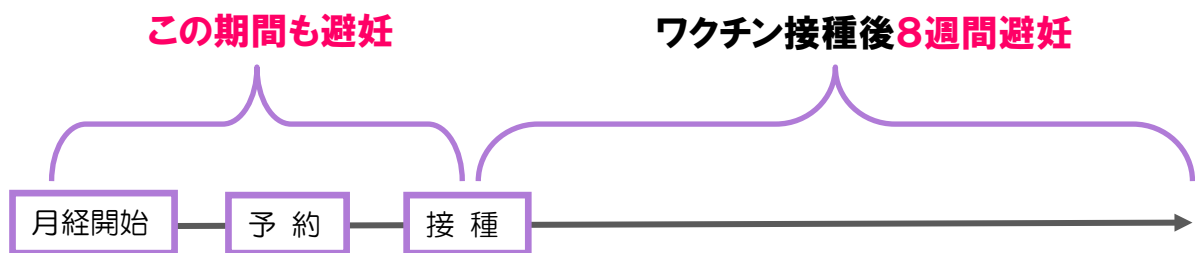


## 麻しん風しん混合ワクチン接種をご希望の患者様へ

- ♣ 女性の方がこのワクチン接種する際には、必ず「妊娠していない」事が条件となります。月経が来たことを確認してから、**ワクチン予約の電話**をしてください。
- ♣ 女性の方はワクチン接種後 2 か月間の避妊が必要になります。
- ♣ 男性の場合はワクチン接種後の避妊は必要ありません。
- ♣ ワクチン接種の当日に発熱等がある場合には、電話にてご相談ください。
- ♣ 医師の判断によって、予防接種が出来ないこともあります。
- ♣ 麻しん風しん混合ワクチン接種後、他のワクチン接種を希望する場合は、接種先の医師にご相談ください。

### ワクチン接種後の女性の避妊期間について



# 乾燥弱毒生 麻しん風しん混合ワクチン について

## 【 接種 不適合者（ 予防接種を受けることが適当でない方 ）】

被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行えません。

1. 明らかな発熱を呈している方
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者方
3. 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
4. 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている方
5. 妊娠していることが明らかな方
6. 上記に掲げる方のほか 予防接種を行うことが不適当な状態にある方

## 【 接種上の注意 】

### 1. 接種要注意者（ 接種の判断を行うに際し、注意を要する方 ）

- 1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方
- 2) 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある
- 3) 過去にけいれんの既往のある方
- 4) 過去に免疫不全の診断がなされている者及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- 5) 本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

### 2. 重要な基本的注意

ワクチン接種された方は、女性については約2か月間、妊娠禁忌となります（男性については避妊は不要です）。

### 3. 併用禁忌（ 併用しないこと ）

副腎皮質ステロイド剤（プレドニゾン製剤等）及び免疫抑制剤（シクロスポリン製剤等）等を使われている方

## ワクチンの副反応

- ・ ショック・アナフィラキシー様症状（蕁麻疹・呼吸困難・血管浮腫）
- ・ 急性血小板減少性紫斑病（稀、100万人に1人）：接種後 数日から3週間して紫斑・鼻出血・口腔粘膜出血が出現したら検査が必要です。
- ・ 脳炎（極めて稀、100万人に1人以下）

## その他の副反応

- 過敏症：まれに接種直後から数日中に、過敏症状として発疹、蕁麻疹、紅斑、痒疹、発熱等があらわれることがあります。
- 全身症状：発熱、発疹があらわれることがありますが、通常一過性で2-3日でなくなります。接種後1-2週間前後に頸部その他のリンパ節腫脹、頭痛、関節痛があらわれることがあります。
- 局所症状：発赤、腫脹、硬結等が接種部位にあらわれることがあります。

麻しん風しん混合ワクチンは、毒性は弱めていますが生きていますウイルスを用いた「弱毒 生ワクチン」ですので、妊娠すると胎児にも感染する可能性があるため避妊を要します。